

第16代串間市長 所信表明

第16代串間市長に就任した野辺修光市長が、平成22年第5回(9月)串間市議会定例会で所信表明を行いました。その全文を紹介します。



第16代 串間市長
野辺修光

The Mayor of the 16th Kushima
OSAMITSU NOBE

平成22年第5回(9月)串間市議会定例会にあたり、串間市政を担うわたしの所信を申し述べさせていただきます。

先の串間市長選挙におきまして、多くの方々の熱い思いにより、再び串間市のかじ取りを託され、第16代串間市長に就任させていただきました。今、あらためてその責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いであります。このたびの口蹄疫の影響は、畜産業はもとより本市の経済にも大きな影響を及ぼしました。被害にあわれた畜産農家や関係者の皆さまに心からお見舞い申し上げます。また、防疫対策にご努力いただいた関係者の皆さまにも、心から感謝申し上げます。

この中であつて串間市が、今までより増して、自立する地域力と財政力を身につけるためには、選択と集中による施策の厳選が不可欠であり、決定までの過程を市民へ情報公開し、施策決定にかかる情報の共有化が必要となつてきています。行政が抱える課題は、市民の安心安全・少子高齢化と核家族化・青少年教育・環境など地域社会の再構築など、枚挙にいとまがありません。これらすべて、市民との協働なくしては成しえないものであり、今まさに行政手法の転換が求められています。

わたしはこのたびの串間市長選挙で、市政を進めるにあつて、特に重点として実施する5つの施策と、市民投票で原発問題に終止符を打つことを訴えてまいりました。その施策とは「雇用」「子育て」「市民協働」「暮らし・社会基盤」「行財政改革」であります。

一つめの「雇用」とは働く場を創設し、雇用の安定を図るもので、串間の人口減少に歯止めをかけるものです。内容は次のとおりです。

- ◎基幹産業として農林水産業の振興を図り、農家経営の安定に取り組みます。
- ◎観光の再生・振興を図ります。
- ◎商工業や地場産業などの振興を図ります。
- ◎企業誘致を進め、雇用の場を創出します。

です。

◎市民の安心と安全を守るとともに生命を守る医師の確保など医療体制の充実を図ります。

◎市民の健康、福祉の充実を図ります。

◎環境にやさしいまちづくりを推進していきます。

◎東九州高速自動車道や道路網の整備を図ります。

◎中心市街地整備を含めた新たなにぎわいのまちづくりを推進します。

五つめの「行財政改革」とは、自立存続のために、さらなる行財政改革を基本とした取り組みを実施します。

◎公平公正な行政運営を目指します。

◎真に必要な行政組織の見直しを行います。

◎自立存続のため財政の健全化を図ります。

◎職員の資質の向上に取り組めます。

これらの行財政改革は、今後進めてまいります。市の財政運営に余裕ができて、そのことによつて市民生活に影響がないよう、真に必要な予算については的確かつタイムリーに予算措置していきたいと考えております。

また、串間市が今後、厳しい自立の道を歩くうえで、市民主

二つめの「子育て」とは、串間の将来を担う子どもを健やかに育ていける環境を醸成していきます。内容は次のとおりです。

- ◎小中高一貫教育の推進を図り、教育環境の整備に努めます。
- ◎第3子以降の保育料無料化を継続します。
- ◎中学校卒業時までの入院に要する保護者負担の軽減を図ります。
- ◎子育て支援のための相談体制の充実を図ります。
- ◎三つめの「市民協働」とは、市民と行政が協働することで市民が主役のまちづくりを展開していくものです。内容は次のとおりです。
- ◎自治会、市民団体などがともに支えあい、ともに暮らす協働、共存のまちづくりを進めます。
- ◎定住促進(U-Jターン者、若者が暮らせるまち)に努めます。
- ◎男女がともに参加できる社会づくりを推進していきます。
- ◎生涯学習、社会教育を充実させ、地域の活性化に努めます。
- ◎地域団体の活動を支援し、明るいまちづくりに努めます。
- ◎四つめの「暮らし・社会基盤」とは、市民が暮らししていく中で、生活環境を向上させ、市民が暮らしやすい串間市づくりを目指すものです。内容は次のとおり

役のまちづくりを展開するためには、市民の心を一つにし、協働して施策に取り組む必要があります。しかし、市内には原発問題がまた存在しており、強く推進する声と、強く反対する声で意見が二分しております。市民が冷静に判断できるこの時期に、市民投票を実施し、この問題の是非を問い、反対が多ければ終わりにし、別な施策を模索していくべきであり、市民の確かな判断をお願いしたいと考えております。

市長就任以来、すでに一か月が経過いたしました。以前の8年のブランクを感じたことはありません。なぜなら、県政の場から常に串間のことを考えていたからであります。就任後、あいさつ回りを後回しにし、2日間かけて各課ヒアリングを行いました。各課の取り組みや問題点を把握するのが目的で、わたしの考え方も述べていただきました。今までの経験や人脈を通じて、国・県事業を積極的に活用することをお願いしたところ。中心市街地整備を含めたにぎわいづくりや、健康で元氣な高齢者で支える農業の創出、串間市総合運動公園の利活用など、わたしの考えの一端を述べたところで。また、今後はスピード感を持って取り

「対話と協働」により 「幸せで住みよい豊かな串間の創造」を目指します。